

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

平成30年01月10日 NO.46

発行責任者：橋迫芳隆

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>



迎春

平成三十年戊戌に因んで

新たなスタートを切る年

平成30年の元旦は曇ひとつない穏やかな晴天で明けました。

今年の干支は、戊戌（つちのえいぬ）で60の中の35番目です。

戊（つちのえ）は十干の第五にして、陽、五行は土性の陽、方位は中央、季節の変わり目を表す。戊の字は「茂」に通じ植物の成長が絶頂期にあることを表す。「土の兄」とも書き正に土を表す。「土」は「万物を育成し保護する性質」を持つ。

戌（いぬ）は十二支の11番目で、陽、五行は土気の陽、方位は西北西の少し北より、季節は旧暦九月の秋から冬。戌の漢字は「一」と「戈（ほこ）」で成り立ち「作物を刈り取りひとまとめに締めくくることがを表す。「酉」は、果実が成熟した状態を表わしていたが「戌」は収穫をした後を表すと言える。

戌は陽の土、戌は陽の土の性質を持ち、両者の関係は「比和」となる。「比和」とは、同じ気が重なること

その気が盛んになるという意味で、結果が良ければさらに良くなるがその逆もあり得る。

昨年（丁酉の年）は、活動が成果・形をなし、「大きく飛躍する年」でしたが、今年（戊戌の年）は、飛躍したかどうか、結果が問われる年であり、それを生かすか無となすか、攻めるか守るか、しっかりとした見極めが大事で、成果を集約し「新たなスタートを切る年」となるのではない。

株の格言に、「（一）末（ひつじ）辛抱、申酉（さるとり）騒ぐ、戌（いぬ）笑い、亥（い）固まる、（一）」とありますが、確かに昨年は内外ともに賑やかでした。今年は、大波乱も予測されますが、目標達成で大笑いの年となるか。

私も、この一年は初心に帰り、持てる力を十分に発揮し、政策提言と諸々の課題解決に取組みますので、格段のご指導を宜しくお願い申し上げます。

なにがどうなる

12月定例会条例改正など

おもなもの

<条例改正>

○ふるさと応援条例の第2条に「地域創造チャレンジ基金」に関する事業を追加し、事業への財源対策としていわゆる「ふるさと納税」が適用できるようになりました。

<財産の無償貸付>

○旧神石中学校の跡地（評価額 1930 万円）を、社会福祉法人「神寿福祉会」へ無償貸付。

＊目的→地域の高齢者サービスを向上させること

＊貸付期間・自 H30.1.1～至 39.12.31（10 年間：財務規則で定める期間）

<教育委員会員の任命同意>

氏 名	生年月日	住 所	任 期
もり えみ 森 恵美		小畠 2444 番地 5	H29.12.31 から 4 年間

※ご活躍をお祈り申し上げます。

12月補正予算

主な補正財源

<一般会計> 単位：万円
繰越金 3,623
県支出金 1,514
寄付金 3 億
町債 1 億 1,620
など

ふるさと納税

○ふるさと納税寄付金補助は、追加寄付金を 3 億円と見込み追加分 3 億円×95%=2 億 8500 万円。を追加補正した。

ふれあいタクシー

○ふれあいタクシー関連の年間経費を 5760 万円と見込み当初予算 3960 万円との差額 1800 万円を追加補正した。

平成29年9・12月一般会計補正予算

(単位：万円)四捨五入

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	-32	8735	職員人件費
総務費	36494	22億8745	(9月補正)衆議院選挙(専決処分)1,000 かがやきネット800、(旧)神龍中解体2,8840、ふるさと納税経費359、ふるさと納税支援法人交付2億8,500、ふれあいタクシー補助交付1,903、マイナンバー経費165
民生費	5726	22億1584	障害者介護給付2,200、介護保険会計繰出706、油木・とよまつ保育所運営経費1,000
衛生費	-▲4100	14億0699	▲病院建設事業補助4,550、グリーンセンターじんせき経費(ファン修繕)402、
農林水産費	1421	10億2761	堆肥購入補助200、まるごと市場トラック・出荷ADSL375、人・農地プラン358、肉用牛経営安定化714、中山間ぶどう棚設置320、水土保全林干伐補助272、小規模崩壊199
商工費	417	1億6963	スコラ250
土木費	-▲9553	5億6527	長寿命化110、社会資本整備総合交付金事業▲1億42、町道整備248
消防費	-▲247	4億2938	機能別団員80、消防設備事業▲330
教育費	404	6億2776	スクールバス▲35、油木高校支援(定期券)110、英語教育▲120、来見小(トイレなど)367
災害復旧費	7796	7799	現年発生農地・農地施設3,198、現年発生道路橋梁4,599
公債費		14億5723	
諸支出金	47	5億2125	かがやきネット管理運営基金積立47
予備費		4000	
合 計	3億8373	109億1375	

平成29年度予算会計別総括表				
単位：万円（四捨五入）				
会 計 名		H29年度		
		9・12月補正	12月補正後予算	適用
一 般 会 計		3億8373	1,09億1,375	9月は専決処分選挙1000
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	94	12億6,704	職員人件費44
	後 期 高 齢 者 医 療		3億7,966	
	介 護 保 険	187	19億0,304	システム整備142
	簡 易 水 道 事 業	414	5億6,458	施設修繕245
	飲 料 水 供 設 事 業	41	4,102	施設修繕26
	農 業 集 落 排 水 事 業	325	2億4,611	施設修繕335
	分 収 育 林 事 業		10	
	総 合 開 発 事			
	特別会計計	1061	44億0,155	
病 院 事 業 会 計		-▲6750	4億9,142	病院新築移転委託料▲6,833
合 計		3億2684	158億0672	
特別会計＋病院事業会計		-▲5689	48億6,739	

主な補正財源

単位：万円

＜国保会計＞	
繰入金	44
繰越金	50
＜介護会計＞	
繰入金	129
国庫補助金	54
＜簡水・集排・飲料水会計＞	
繰越金	622
分担・負担金	150
＜総合開発会計＞	
他会計補助金	▲4550
企業債	▲2200

＊病院新築移転に関する予算に於いて、設計費が入札により不用額が発生したため減額補正された

補正予算質問

「まちづくり推進課」

かがやきネット事業

木野山 解約撤去・支障移転工事800万円の内容は。
まちづくり推進課長

空き家など解約された家までのケーブルを外す工事費用。
支障移転は中国電力の電柱移転に伴う設備移転経費。

【福祉課】

保育所運営経費

木野山 油木・とよまつ保育所運営負担金が1千万円増額補正されている。指定管理費の算定基準の説明を。
福祉課長 基本協定書で児童数の変更や配慮の必要な児童数の変更による保育士の数などはその都度協議することになっている。

木野山 常に変動費に対応し経費を支出するのは指定管理の目的が問われる。
福祉課長 今後制度の在り方を考慮しながら指定管理料の設定を行う。

【産業課】

まるごと市場管理運営経費

木野山 まるごと市場トラック床下格納リフト整備に225万円追加補正されている。今後はエブリイへの集・配荷となる。トラックの所有はどうなるのか。何故トラックの整備費を負担するのか。
産業課長 町（182ステーション）の所有としてエブリイに貸付したい（集荷に使用）が、出荷者から町が責任を持って集荷して欲しいとの要望もあり、町が集荷を行いエブリイに配荷する案もあり、現在協議中です。

木野山 発券機の取り扱い。高齢者が多く取り扱いに苦慮していると聞か。
また、ADSLの整備によるシ

産業課長

エブリイの発券機はネット上を経由して売上状況など情報交換をする。映像情報も受信可能だ。

年明けに町内4地区で発券機の取り扱い説明会を実施する。
エブリイへ全部丸投げするのではなく出荷者協議会を通じて町もかわっていく予定です。



H29. 11. 12

高蓋地区有志により、三和総合センター周辺に水仙が植えられました。（目標1万本）
暖かい春が来るのが楽しみです。

一般質問

基金ファンド事業の更なる拡大は出来ないか

①資金援助枠の拡大

現在考えられている企業支援の為に、行う資金援助は、私募債の購入と新規株の購入による資金投下である。

私募債の購入は、私企業の債務の引受けであり最終的には返還される。

新規株の購入は、起業への資本参加であり、企業の自社株買いにより初めて資金が還元される。

事務手続きも複雑で、一般的に町内企業にはなじむのか、疑問である。

新たに、融資・貸付の方法で資金援助は出来ないのか。可能性を質した。

②対象事業の拡大

事業対象者は、基金ファンド設立の目的に「新規のビジネスのチャンスを拡大すること」とあるように新規に起業する企業に限られていると思われるが、“新規のビジネス”の解釈は。具体的に、どのような形の起業を想定されているのか。

支援として助成・補助も考えられており、起業に限ると事業範囲が限られる。

対象事業の拡大は考えられないか。

融資・貸付はできないか

Q木野山 基金ファンド事業における資金支援は、私募債および株式の引受けを想定されているが、新たに融資・貸付による支援は出来ないか。

A町長 融資・貸付には、貸金業法などの要件を満たす必要があり難しい。私募債や株式の引受けも同じ効果がある。融資・貸付については、引続き出来ないか検討したい。

ふるさと納税制度の運用は

Q木野山 まちづくり応援条例の2条5項目に「基金ファンド事業」を加えたがどの様に運用するのか。

A町長 チャレンジ基金の財源とするが具体的に案件が決まったものは町が絡む形のガバメントクラウドファンディングによる資金提供もある。

既存の助成金制度との関連は

Q木野山 資金支援に於いて、寄付を財源とする助成金も想定されている。既に起業支援事業を実施しており平成27年度28年度において6起業者に各百万円を助成している。

今後の考え方は。

Aまちづくり推進課長 ファンド事業で対応されれば企業支援事業は廃止する。

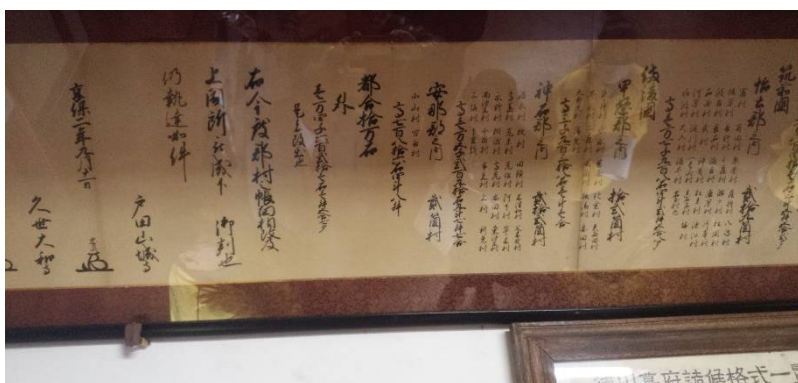
Q木野山 私募債・株式の引受けと助成金としての資金支援の選択基準は。

A参事 基準は曖昧なので理事会・評議委員会で具体的に決定したい。

対象事業の拡大は出来ないか

Q木野山 助成としての資金支援については、新規商品開発、新規販路開拓など支援枠を広げたらどうか。

具体的には、農商連携事業として、農産物の新規商品を開発



H29.11.24 郷土史研究会の皆様と、九州大分県中津市を訪問し、地元のガイドの方々に中津城を案内して頂きました。
備後の国、甲奴郡12カ村 神石郡22カ村と掲示してあります。

した場合の開発費助成、その開発した商品を東京や大阪など都市部で、あるいはフランス・イタリアなど海外で開催される商談会への出品経費など新規商圏開拓への助成など考えられる。

A町長 6次産業化などへの補助金制度もあるが案件ごとに精査して柔軟に対応したい。

Q木野山 枠の拡大によりハードルも低くなりファンド基金事業の目的にも適うのではないか。

A町長 受け皿は幅広く持ちたい。

事業成果の公表は

Q木野山 事業成果の報告・公表が出来るように努力すべきだ。成果の公表を通じて町の活性化に繋げてほしい。

A町長 是補とも成果を上げ公表を通じてしっかり全国にPRしたい。